

令和4年度

事業報告書

学校法人 足立学園

目 次

1. 法人の概要

(1) 建学の精神	1
(2) 設置する学校・学部・学科等	1
(3) 沿革	2～3
(4) 組織図	4
(5) 設置学校の収容定員・学生数等	5
(6) 役員・教職員等	6

2. 事業の概要

(1) 愛知文教大学	7～11
(2) 愛知文教女子短期大学	12～17

3. 財務の概要

(1) 資金収支計算書の推移	18
(2) 活動区分資金収支計算書の推移	19
(3) 事業活動収支計算書の推移	20
(4) 貸借対照表の推移	21
(5) 令和4年度事業活動収入及び支出の構成比	22
(6) 主な財務比率の推移	23
(7) その他 財務諸表の説明等	24

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

「質実にして知性高く、宗教的情操を身につけた真人を育成する」

(2) 設置する学校・学部・学科等

愛知文教大学	大学院	国際文化研究科
	人文学部	人文学科

愛知文教女子短期大学	生活文化学科
	食物栄養専攻、生活文化専攻
	幼児教育学科第一部
	幼児教育学科第三部

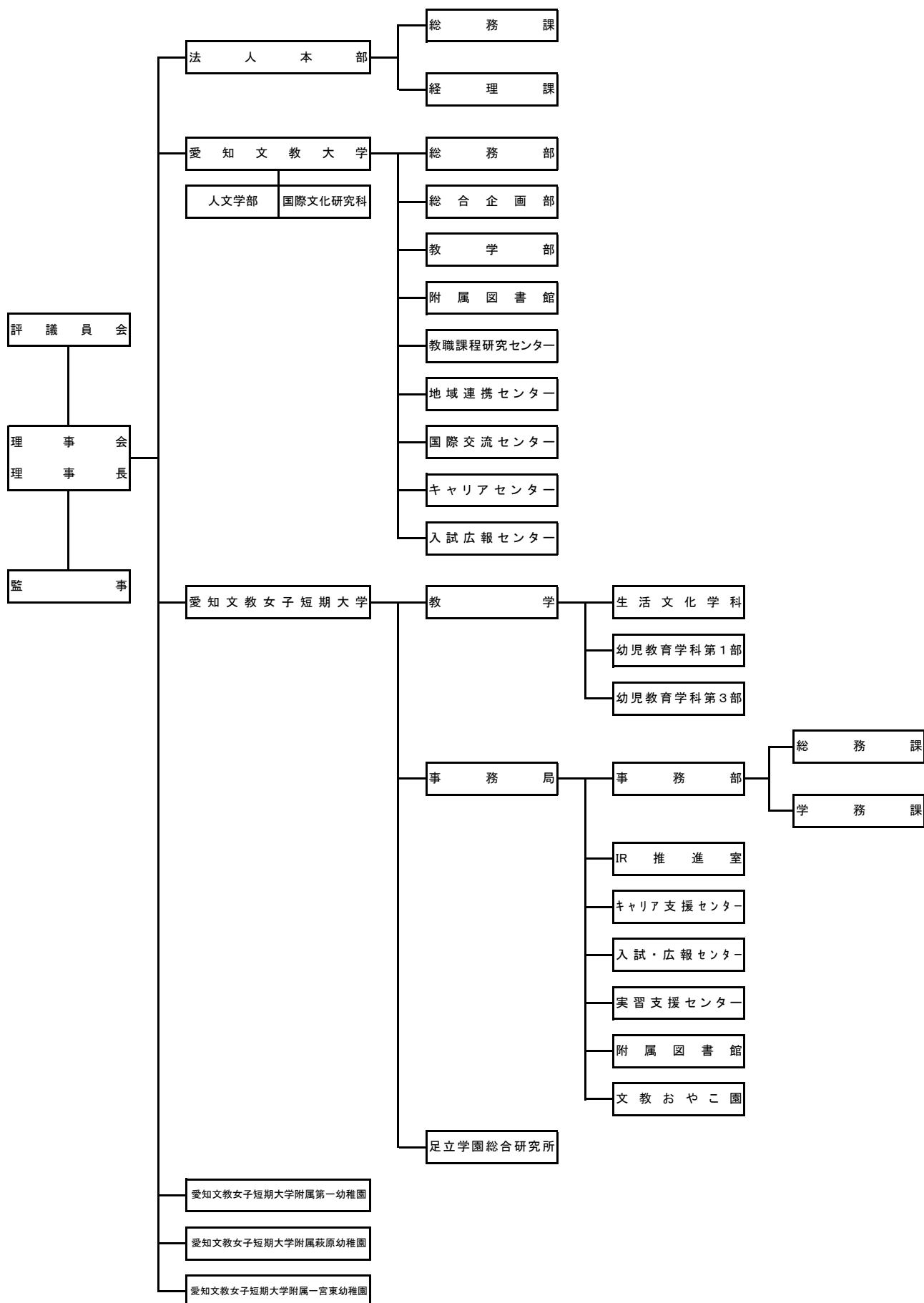
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園

(3) 沿革

昭和 26 年 3 月	稲沢女子短期大学設置認可 家政科第 1 部設置認可
昭和 27 年 2 月	稲沢女子短期大学家政科第 2 部設置認可
昭和 31 年 2 月	稲沢女子短期大学附属第 1 幼稚園設置認可
昭和 32 年 4 月	稲沢女子短期大学家政学科第 1 部、栄養士養成施設として指定
昭和 38 年 3 月	稲沢女子短期大学生生活デザイン科設置認可
昭和 41 年 1 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 1 部設置認可
昭和 41 年 2 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 1 部保育養成施設として指定
昭和 42 年 3 月	稲沢女子短期大学附属萩原幼稚園設置認可
昭和 44 年 2 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 3 部設置認可
昭和 47 年 2 月	稲沢女子短期大学幼児教育学科第 3 部保育養成施設として指定
昭和 47 年 3 月	稲沢女子短期大学生生活デザイン科をデザイン美術科に名称変更
昭和 50 年 3 月	稲沢女子短期大学附属一宮東幼稚園設置認可
昭和 58 年 4 月	稲沢女子短期大学本館竣工記念式典挙行
昭和 60 年 11 月	稲沢女子短期大学 2 号館竣工記念式典挙行
平成 2 年 3 月	稲沢女子短期大学家政科を生活文化学科に名称変更 生活文化学科第 1 部は食物栄養専攻と生活文化専攻に専攻分離
平成 5 年 4 月	稲沢女子短期大学を愛知文教女子短期大学に名称変更 附属幼稚園もそれぞれ愛知文教女子短期大学附属第 1 幼稚園、萩原幼稚園、一宮東幼稚園に名称変更 愛知文教女子短期大学 3 号館竣工記念式典挙行
平成 8 年 3 月	専攻科介護福祉専攻設置認可
平成 9 年 12 月	愛知文教大学設置認可

平成 13 年 5 月	愛知文教女子短期大学創立 50 周年記念式典挙行
平成 14 年 12 月	愛知文教大学大学院設置認可
平成 15 年 4 月	愛知文教大学大学院国際文化研究科修士課程設置
平成 15 年 4 月	愛知文教女子短期大学デザイン美術科をデザインアート学科に名称変更
平成 16 年 11 月	愛知文教大学大学院博士後期課程設置認可
平成 17 年 3 月	愛知文教女子短期大学生活文化学科 第 1 部 食物栄養専攻 栄養教諭免許課程 認定
平成 18 年 4 月	愛知文教女子短期大学デザインアート学科募集停止
平成 19 年 8 月	生活文化学科 第 1 部 「特色ある大学教育支援プログラム」文部科学省 採択
平成 22 年 4 月	愛知文教女子短期大学生活文化学科第 1 部を生活文化学科に名称変更
平成 22 年 4 月	愛知文教大学国際文化学部国際文化学科を人文学部人文学科に改組
平成 23 年 11 月	愛知文教女子短期大学創立 60 周年記念式典
平成 24 年 4 月	愛知文教大学大学院博士後期課程募集停止
平成 24 年 10 月	足立学園総合研究所設立
平成 27 年 3 月	専攻科介護福祉専攻廃止
平成 28 年 4 月	愛知文教女子短期大学生活文化学科生活文化専攻 情報ビジネスコースを新設
平成 28 年 6 月	文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業に採択
平成 28 年 11 月	文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に選定
令和 3 年 7 月	愛知文教女子短期大学創立 70 周年

(4) 学校法人足立学園組織図（令和4年5月1日現在）



(5) 設置学校の収容定員・学生数等の状況

2022年5月1日現在

学校名	学部・学科名	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	現員
愛知文教大学	人文学部	110	60	15	5	470	396
	大学院修士課程	8	1	-	-	16	6
	小計	118	61	15	5	486	402
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	70	58	-	-	140	116
	幼児教育学科第1部	80	31	-	-	160	98
	幼児教育学科第3部	70	58	-	-	210	217
	小計	220	147	0	0	510	431
園名						収容定員	現員
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園		-	-	-	-	360	269
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園		-	-	-	-	270	190
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園		-	-	-	-	207	175
計		338	208	15	5	1,833	1,467

2023年5月1日現在

学校名	学部・学科名	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	現員
愛知文教大学	人文学部	110	58	15	4	470	317
	大学院修士課程	8	2	-	-	16	7
	小計	118	60	15	4	486	324
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	70	21	-	-	140	79
	幼児教育学科第1部	80	28	-	-	160	58
	幼児教育学科第3部	70	39	-	-	210	170
	小計	220	88	0	0	510	307
園名						収容定員	現員
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園		-	-	-	-	360	248
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園		-	-	-	-	270	183
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園		-	-	-	-	207	167
計		338	148	15	4	1,833	1,229

(6) 役員等の状況 (2023年3月31日現在)

①役員

理事	定数	現員
	7名	7名

理事長	足立 誠	
理 事	富田 健弘	愛知文教大学学長、愛知文教女子短期大学学長
理 事	星野 秀樹	愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園園長
理 事	鈴木 雅之	法人本部長・財務担当
理 事(学外)	土川 清治	
理 事(学外)	林 茂夫	
理 事(学外)	竹田 益久	

監事	定数	現員
	2名	2名

監事	加藤 愛一郎	
監事	戸松 卓治	

②評議員

評議員	定数	現員
	15名～21名	15名

足立 誠	富田 健弘	足立 諭	安藤 京子	足立 正和
立川 雄子	安井 映理子	鈴木 雅之	土川 清治	林 茂夫
大島 早苗	猪子 雅王	横井 孝夫	横山 晴一	竹田 益久

(7)教職員の状況 (2022年5月1日現在)

学校名	本務教員	本務職員	計
法 人	0	4	4
愛知文教大学	21	19	40
愛知文教女子短期大学	31	20	51
第一幼稚園	16	2	18
萩原幼稚園	12	2	14
一宮東幼稚園	8	2	10
合 計	88	49	137

2. 事業の概要

(1) 令和4年度 愛知文教大学事業報告書

1. 教育研究活動

(1) 研究発表

本学は教育研究の柱を「アカデミアゼミ教育」と「卒業研究」としている。3、4年生全員に研究発表を課している。1、2年生は発表見学者として参加させた。また2年生は3年次の希望ゼミを選択する場とした。2022年は12月15日（木）にコロナ禍の為、オンラインにて実施した。

(2) アジア語学研修（2022年度）

2020年から2年間実施出来なかった。2022年度は11月20日（日）から12月3日（土）間の2週間で実施することが出来た。2020年に入学した3年生向けに短期語学研修（英語圏のみ）を実施した。1年生、2年生は実施を見送った。本学は第2外国語を「英語」・「中国語」の2カ国語とし、これを学ぶプログラムの一つが語学研修である。語学を身に付けるには「留学」が必要不可欠と定義し、英語圏：フィリピン、中国語圏：台湾）を計画していた。2022年度は台湾での研修は出来なかった。2023年度は11月に1年生から3年生までの3学年実施を計画している。

(3) 中長期海外留学（提携大学との交換留学を含む）

2022年度はカナダに1名が半年留学し帰国、2023年度に卒業した。くら寿司株式会社に世界展開のメンバーとして就職した。提携大学との交換留学は新型コロナウイルス感染症の全世界規模拡大のため、実施出来なかった。このコロナ禍において2022年4月末から6月に天津から16名が1年間の留学生として渡日してきた。その後、2022年9月に1名、2023年4月に14名の1年間留学生が渡日し、本学で学んでいる。

(4) 研究活動 科研費（2022年度）

本学教官3名が取得 合計 3,363,750 円（内 間接経費 776,250 円）であった。

5) 大学院

2020年度開始の新カリキュラム（秋入学あり）による最初の修了生を、3月に送り出した。2023年9月には、初めて秋期入学-春期末修了生が出るのが期待される。

2. 自己点検・評価委員会

外部評価委員会を実施した。2021年度に大学機関別認証評価（日本高等教育評価機構）を受審し「適合」を得ている。2022年度はその評価について外部評価委員会を、2023年2月に実施した。

外部評価委員：武市 礼子（小牧市教育委員会文化財課課長）、山口 哲（愛知県立春日井東高等学校校長）、平手 悠佳里（小牧市北里児童館副館長）、早川 渡（愛知文教大学教授）、朴 賢晶（愛知文教女子短期大学教授）

3. 地域・社会活動

(1) 小牧市の要請に基づき各種委員会等に委員として教職員を参加させた。（2022年度）

①小牧市国際交流協会理事・小牧市文化財啓発事業調査研究受託委員会委員 富田健弘、②一般財団法人こまき市民文化財団理事（2020年4月1日～）・小牧市社会教育委員（会長）（2019年4月1日～）・小牧市教育振興基本計画推進会議委員（2020年4月1日～）・小牧市市民活動促進委員会委員（2017年4月1日～） 竹中 烈、③太良上池・下池公園基本計画策定検討委員会委員 鈴木雅之、④愛知県小牧警察署国際化問題アドバイザー（2016年12月～） 辻 千春、⑤小牧市立中学校制服検討委員会委員・小牧市通学区域審議会委員・こまき青少年少女発明クラブ企画運営委員

長 永井勝彦、⑥小牧市立図書館協議会委員（2022 年 7 月 1 日～）早川 渡、⑦小牧市文化財啓発事業調査研究受託委員会委員 内田吉哉

（２）小牧市の文化財啓発事業

小牧市文化財啓発事業調査研究委託業務受託委員会（事務長 宮崎貴光） 2022 年度は 3 回（6/16, 11/10, 3/9）開催した。

2022 年は 999 万円の研究調査委託費を小牧市から委託された。

①小牧市歴史文化基礎講座—小牧と周辺の歴史を学ぶ—3 回開催した。

小牧市まなび創造館（ラピオ 5 階） あさひホール

回	月 日	演 題	講 師	備考
1	7 月 2 日(土)	小牧市域の祭りと芸能 ～町場と農村～	民俗芸能研究家 鬼 頭 秀 明	40
2	7 月 9 日(土)	大山廃寺の発掘調査とその後 ～発掘調査から 43 年、調査 成果の再検討と今後の課題～	小牧市文化財保護審議委員 中 嶋 隆	58
3	7 月 23 日(土)	地面の中をのぞいてみれば ～地層と地形から読み解く小 牧市の大地の歴史～	愛知県埋蔵文化財センター 主任研究員 鬼 頭 剛	64

②小牧市歴史講座

前期 —「美濃・伊勢と尾張」をテーマに講演を開催した。

小牧市まなび創造館（ラピオ 5 階） あさひホール

回	月 日	演 題	講 師	備考
1	9 月 18 日(日)	美濃土岐一族の 尾張進出	元法政大学講師 谷口 研語	155
2	9 月 24 日(土)	美濃斎藤氏の盛衰	東洋大学文学部准教授 木下 聡	149
3	9 月 25 日(日)	信長の伊勢・伊賀統一	三重大学副学長 藤田 達生	156
4	10 月 2 日(日)	織田信長と長島一向一揆 との戦い	中京大学教授 播磨 良紀	158
5	10 月 9 日(日)	織田信長の東美濃攻略	富加町教育委員会 主査 島田 崇正	146

後期 —「小牧・長久手の戦い」をテーマに講演を開催した。

小牧市まなび創造館（ラピオ 5 階） あさひホール

回	月 日	演 題	講 師	参加者
1	1 月 21 日(土)	伊木清兵衛と小牧長久手 の戦い～その生涯を追っ て	織田信長文献蒐集家 唐松 健夫	135
2	2 月 4 日(土)	小牧長久手の戦いと 長久手の史跡	長久手市生涯学習課学芸員 川出 康博	158

3	2月11日(土)	家康から見た 小牧・長久手の戦い	愛知大学教授 山田 邦明	137
---	----------	---------------------	-----------------	-----

③夏休み子ども向け講座 「子ども古文書寺子屋」を実施した。

令和4年7月30日(土)・8月6日(土)の2回連続講座

講師 酒向 道夫 (小牧市古文書調査会)

場所 小牧市まなび創造館(ラピオ4階) 多目的室

募集人員 15名 (小学4・5・6年生対象) 参加者 小学生2名とその母親の計4名

④古文書入門講座を開催した。(基礎講座4回、実践講座4回)

日時 基礎講座: 4回 令和4年11/12・19・26・12/3

実践講座: 4回 令和5年1/14・21・28・2/4

午前10時30分～12時

講師 基礎講座: 酒向道夫

実践講座: 藤堂修一、倉知俊夫、加藤憲吾、高瀬眞知子、大川勝、吉田恭三、吉川將、篠田徹、
酒向道夫

内容 基礎講座では、変体仮名やくずし字、候文の読み方を文例に即して説明。

実践講座では、古文書読解のレベルや経験から8班に分け、各自の進度に合わせて教材を解説、講師はそれをサポート。

場所 基礎講座: 小牧市まなび創造館研修室(ラピオ5階)

実践講座: " 多目的室(" 4階)

募集人員 基礎講座30名 実践講座50名 別々に募集

基礎講座は募集人数を超える応募があり抽選を行いました。

参加者 基礎講座: 25名～29名 実践講座: 38名～44名

⑤小牧市文化財巡り(味岡地区) 下記のように実施した

日時 令和4年 11月 6日(日)

場所 味岡地区(岩崎山とその周辺)

案内人 篠田 徹はじめ文化財地図作成委員

集合場所・時間 小牧市味岡市民センター 午前8時30分集合～正午解散

参加者 募集人員30名 当日参加者17名(欠席11名)

内容 要所で西川委員の説明を受けながら、岩崎山周辺の文化財を見て回った。交通の便が良いのでバスは利用しなかった。

(3) 小牧市学習チューター制度へ協力(小中学校の学習支援を実施)

桃ヶ丘小学校4名64回、篠岡小学校2名26回、光ヶ丘小学校1名15回、大成小学校3名29回、
合計134回実施した。

4. 学生がボランティアとして参加予定であった地域交流事業、近隣団地で開催される予定の小牧市民祭、小牧市国際交流協会の事業等は実施されなかった。

5. サテライト教室

会場: 愛知芸術文化センター会場

	エジプト講座	クラシック講座	特別講座
春講座 (4/12～5/30 全5回)	123 名	92 名	
夏講座 (7/11～9/26 全6回)	153 名	105 名	19 名
秋講座 (10/24～12/26 全6回)	113 名	85 名	37 名
冬講座 (1/9～3/13 全6回)	140 名	99 名	4 名
合 計	529 名	381 名	60 名

収支決算 収入 1,774,500 円 支出 1,730,390 円 収益 44,110 円

6. 高大連携

令和4年度現在、16校の高等学校と提携協定を締結している。

①啓明学館高等学校、②愛知啓成高等学校、③愛知県立春日井商業高等学校、④大成高等学校、⑤愛知県立愛知商業高等学校、⑥愛知県立南陽高等学校、⑦高松学園伊那西高等学校、⑧愛知県立中川商業高等学校、⑨愛知県立一宮商業高等学校、⑩名古屋市立名古屋商業高等学校、⑪愛知県立岡崎商業高等学校、⑫愛知県立半田商業高等学校、⑬愛知県立瀬戸北総合高等学校、⑭愛知県立津島北高等学校、⑮愛知県立犬山南高等学校、⑯愛知県立春日井東高等学校

- | | | | |
|------------|-----------------|---|------------------------------|
| (1) 6月1日 | 岩倉総合高校 | 世界の言語と国際コミュニケーション言語、英語 | 勝股行雄 |
| (2) 10月20日 | 瀬戸西高校 | 江戸時代の絵本を読みましょう | 松村美奈 |
| (3) 11月9日 | 小牧高校 | 昔の文字「くずし字」を読みましょう | 畠山大二郎 |
| (4) 11月19日 | 瀬戸北総合高校 | 昔の文字「くずし字」を読みましょう
わかるということの意味 | 畠山大二郎
中島淑子 |
| (5) 2月15日 | おおぞら高等学院 | 漢詩を中国語で読みましょう | 西口智也 |
| (6) 3月8日 | 愛知啓成向けオープンキャンパス | 中国語で自己紹介
英語言語学入門
わかるということの意味
平安装束に触れてみよう | 馬 燕
西脇幸太
中島淑子
畠山大二郎 |
| (7) 3月17日 | 山田高校 | 近代文学にみる怪異・妖異の背景 | 佐藤良太 |
| (8) 9月～11月 | 伊那西高校 | オンラインで木曜日に3回 | 小林正樹、中島淑子、江口直光 |

7. 「学び合う学び」研究所活動報告

4月23日	年度当初の学級づくり、授業づくり ～初任・少経験者、初心に返れる人～ 学び合う学び研究所フェロー 木村芳博	23
5月21日	1人1台クラウド環境を活用した学び ― 春日井市での実践から ― 春日井市立高森台中学校長 水谷年孝	33

6月25日	不登校児童生徒の学びをどう保障するか～学校外の学びの場の現状をふまえながら～ 学び合う学び研究所フェロー 竹中 烈 NPO法人カタリバ・雲南市教育支援センターおんせんキャンパス（所長代理 池田 隆史先生 との オンライン対談）	23
7月23日	講師都合により 中止	
8月6日	数学における学び合う学びの授業実践から学ぶ コメンテーター岩倉市教育委員会 野木森 広、実践発表 岩倉市立南部中学校 横山雄大	30
9月10日	深い学びの実現を社会科から考える コメンテーター岐阜聖徳学園大学 玉置 崇、実践発表 犬山市立犬山中学校 安形直樹	37
10月22日	探究が創る新たな学び 「総合的な学習（探究）について」 愛知淑徳大学 教育学科 加藤 智	20
11月12日	現代につながる江戸時代の教育事情 学び合う学び研究所フェロー 松村美奈	15
12月3日	小牧の歴史と文化について学ぶ ―近世の通俗地誌から見る小牧― 学び合う学び研究所フェロー 内田吉哉	8
1月21日	学びを楽しむ授業づくり・学校づくり 学び合う学び研究所フェロー 林 文通	27
2月18日	対話による深い学びの実現 東海学園大学 水野正朗	19
3月25日	わかることの意味を考える 学び合う学び研究所 所長 中島淑子	10
	年度合計	245

以 上

(2) 令和4年度 愛知文教女子短期大学事業報告書

1. 施設・設備改修計画及び実施

(1) LED 化工事 (1,804,000 円)

各メーカーにおける蛍光灯生産終了や安定器の故障により、校舎内の照明器具について LED 化を実施。

I 号館 1 階トイレ前通路 (220,000 円)

I 号館 正面ホール及びⅢ号館 204 教室 (1,584,000 円)

(2) 空調更新工事及び修繕 (4,045,820 円)

故障等により更新及び修理が必要な箇所を実施。

Ⅱ号館 ピアノ練習室室外機 更新 (3,500,000 円)

Ⅲ号館 冷温水発生機 修繕 (545,820 円)

(3) トイレ改修工事 (3,415,500 円)

令和3年度に空調更新を優先したため、先延ばしとなっていたトイレ改修工事を実施。

I 号館 1 階男女トイレ改修工事 (3,261,500 円) ※汚垂れ石取付含む

Ⅱ号館 1・2 階多目的トイレ パネル取付工事 (154,000 円)

(4) 図書閲覧室書架増設 (677,600 円)

書棚不足により、書架の増設を実施。

前年度、見送りとなっていたトイレ改修工事のほか、校舎内照明器具の LED 化を優先的に実施。令和5年度予算では、事務局及びエレベーター改修のほか、LED 化、空調機更新を計画的に実施予定。

2. 食物アレルギー認定団体設立計画

(1) こども用防災リュック販売開始：「子ども用防災リュック（幼児用）」をクミカ工業株式会社、加賀産業株式会社と共同で開発した。リュック内の備蓄品は食物アレルギー一児にも対応できるようにしている。

(2) 「こどもの食物アレルギー実務技能検定」を創設

日本医療福祉実務教育協会にて「こども食物アレルギー実務課程」を設置した。協会加盟校で検定を実施予定。

3. 2022 年短期大学基準協会第三者評価(第3期認証評価)を受審し、「適格」と判断された。

(1) 外部評価委員会実施：令和5年2月13日(月)10:00~10:30、zoom によるオンラインにて、外部評価委員会を開催し、短期大学基準協会の認証評価結果に関する質疑応答を行った。

(2) 自己点検評価委員会実施：各部署に定期点検を依頼し、令和4(2022)年度の自己点検評価報告書を作成しており、令和5年6月に完成予定である。

(3) 教育の質保証を明確化

- ①3P（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミSSION・ポリシー）の定期的な点検を行った。
- ②教学マネジメント委員会において、学修の可視化、ルーブリック評価の実施、実務系教員の積極的採用を実施する。
- ③シラバス整備を行う。

4. 文教おやこ園

(1) 開催日数及び延べ人数（名）

開催月	開催日数		利用者			学生参加				
	通常開催	OC	総人数	保護者	子ども	自主実習	授業	補講	課題	高校生
4月	11	1	262	131	131	9	0	6	0	0
5月	11	1	287	142	145	5	55	1	39	9
6月	13	0	417	204	213	0	2	2	47	0
7月	11	3	353	181	182	0	113	16	22	14
8月	12	2	334	165	169	0	0	3	0	0
9月	10	0	326	164	162	0	0	0	0	0
10月	12	0	317	151	166	6	79	0	0	0
11月	12	0	342	163	179	5	72	4	0	0
12月	10	0	384	181	203	5	83	4	0	0
1月	11	0	306	147	159	1	110	22	0	0
2月	12	0	370	173	192	0	0	0	0	0
3月	12	2	333	156	177	0	0	0	0	19
合計	137	9	4031	1958	2078	31	514	58	108	42

(2) 授業での活用

- ①保育の心理学「保護者へのインタビュー」 教科担当：朴
- ②子ども家庭支援論「子育てについてのインタビュー」 教科担当：祢宜
- ③生活文化学科総合演習 教科担当：赤塚
- ④音楽表現指導法 教科担当：国藤・玉田
- ⑤乳児保育Ⅱ 教科担当：赤塚
- ⑥子育て支援 教科担当：赤塚

(3) 教員による子育て講座

開催日	担当教員	テーマ
7月 4日(月)	五十嵐	自然の中で子どもを育てる～もりのようちえんとは～
7月11日(月)	星野	第一幼稚園の園長先生のお話
8月 1日(月)	真下・玉田	親子で楽しむ絵本ケア
9月 2日(金)	有尾	防災セミナー～安全リュックの紹介～
9月 30日(金)	赤塚	おもちゃの効果と選び方
10月 12日(水)	加藤	子どもと会話を楽しもう
12月 21日(水)	国藤・玉田	クリスマスコンサート
1月 13日(金)	山崎	英語で絵本の読み聞かせ
2月 8日(水)	伊藤・真下	サンドアートシアター
3月 8日(水)	朴	すばらしい0歳児

その他、1月11日（水）に西澤准教授と生活文化学科の学生で「親子で身体測定」を実施、体組成計で体脂肪や筋肉量の測定をした。

(4) インスタグラムの投稿 55回（活動報告、お知らせ、園だより 他）

(5) おやこ園委員会（活動内容や行事について、保護者と学生が意見を出し合いながら交流する会）

開催日：5月13日（金）、6月22日（水）、7月22日（金）、8月8日（月）、
10月14日（金）、11月18日（金）、12月9日（金）、1月11日（水）
計8回開催

利用者委員：5名 学生委員：16名

(6) 利用者（パパ・ママ講師）による講座

開催日	テーマ	講座内容
5月9日（月）・6月1日（水）	英語の絵本の読み聞かせ	ママによる英語の手遊び、読み聞かせ
6月6日（月）	英語でリラックス	ママによる英語でのコミュニケーションや歌遊び
9月7日（水）	筋肉パパに聞く！痩せるって何？	パパによる身体づくり講座
10月19日（水）	ベビーマッサージ教室	0歳児を対象としたベビーマッサージ体験
11月2日（水）・1月20日（金）	ママのためのリラックスヨガ	ママによるヨガ講座
11月25日（金）・2月17日（金）	親子でリズム遊び	ママによるリトミック講座
2月10日（金）	英語の絵本の読み聞かせ	ママによる英語で絵本の読み聞かせ
2月13日（月）	バレンタインコンサート	元おやこ園利用ママによるサックスとピアノの演奏会

令和4年度 稲沢市からの委託金 2,500,000円

5. 足立学園総合研究所・地域連携センターの活動支援

(1) Adachi fashion academy 春期講座・秋期講座 4講座計68回開催 397名の参加

(2) コミュニティカレッジ 4講座 年21回開催 272名参加

(3) 地域連携事業

①潜在保育士再就職セミナー、②プラントベースの商品開発プロジェクト、③ピアノコンサート、④着物が似合う街企画、⑤稲葉宿を語る（中止）、⑥美術館で着物を楽しむ、⑦ぱりまる販売推進事業の7事業（1事業は令和4年度中止）を実施した。

(4) 生涯教育事業

①サマーカレッジ2022（夏休みに家族で学ぶ講座 今年度はSDGs・環境問題に取り組んだ）、②デザイナーカレッジ2022（夏休みに家族で学ぶ講座 被服分野に取り組む）、③夏期公開講座（家庭科教員対象の公開講座 幼児教育・生活文化の専門分野から最新

情報を提供)、④防災・備災セミナー(子どものいる暮らしから防災・備災を考える講座 保育士・保護者対象)の4講座開催した。

6. 学科特色による地域貢献事業

(1) 全学で実施した事業

①文教こどもレストラン 2022

2022. 8. 11 開催

稲沢西小学校の児童を対象とした、「大学の学びを体験しよう」「こどもレストランでおいしい食育ランチを食べよう」のイベントを開催した。幼児教育学科がレクリエーション、食育指導を担当、生活文化学科は食物栄養専攻がアレルギー対応ランチ、生活文化専攻がクロマキ体験を担当した。参加児童は32名であった。

②みんないっしょのクリスマス 2022

2022. 12. 9 開催

食物アレルギーのある子どもとその家族に、特定原材料を使用しないフルコースランチを提供した。幼児教育学科は子どもの遊びコーナーを担当、生活文化学科食物栄養専攻は食事提供、生活文化専攻はポスター、パンフレット作製と受付を担当した。参加は9家族33名であった。

【新聞掲載：11/6(日)中日新聞(朝刊 尾張版)】

【テレビ生中継：10/27(木)NHK名古屋放送局「まるっと」】

(2) 各学科 地域産業との協働プログラムの推進

①生活文化専攻(2年 BH)企画・運営「七夕まつり」(対象：稲沢市 信竜会 高齢者福祉施設 ケアハウス信竜・おひさま 利用者約300名)

2022. 7. 実施

施設の利用者の方々やスタッフに向け、暑中見舞いのはがきを作成し、学生が浴衣を着て、それぞれに分かれ、訪問した。利用者さんと歌をうたったり、ゲームをしたり、楽しい時間を過ごした。

②生活文化専攻 ビジネスコース(1年 プロジェクト演習) プラントベースのアイスの開発における調査と販売促進

2022. 5～2023. 3 実施

本学と包括連携を結んでいる愛知県下の食品会社(株式会社名古屋食糧、株式会社おとうふ工房いしかわ、太田油脂株式会社)と一緒になるべくシンプルな素材で3社が扱う「米・豆・油」の良いところを十分に活かし、「あったらいいな」を実現する商品開発を2021年2月から開始。2022年秋に商品化することができた。

高齢者福祉施設(信竜会)での試食会、連携企業等に向けての商品提案、パッケージ作成などを行った。

10月には、SDGs AICHI EXPO 2023で、商品と本学のSDGsの取組の紹介、の試食会、12月には、愛知市町村フェアの稲沢市のブースで「ことちゃんのアイス」の販売を行った。

【新聞掲載：7/3(日)中日新聞(尾張版)】

【7/14 クローバーテレビ <https://youtu.be/BzurpHzUZKg>】

【新聞掲載：12/10（土）中日新聞（尾張版）】

③生活文化専攻（2年 卒業研究）企画・運営「稲沢イルミネーション」

2022.5～2023.3 実施

広報イベントの学生部会として、稲沢イルミネーションの学生イベント企画（スカイランタンイベント）、実施、SNS 発信や設置、イベントボランティア等に協力した。

【新聞掲載：11/6（日）中日新聞（尾張版）】

④生活文化専攻（2年 卒業研究）企画・運営「I' m ファイン薬局の季節の窓飾り」

2022.5～2023.3 実施

毎月2名の学生が、I' m ファイン薬局へ行き、季節に合わせた窓飾りを実施した。I' m ファイン薬局の利用者を楽しませた。

⑤生活文化専攻（2年 卒業研究）企画・実施「段ボールコンポストを利用した循環型社会の可視化プロジェクト」

2022.4～2023.3 実施

稲沢市資源対策課の方から段ボールコンポストの実施方法を学び、調理実習で生じた生ごみを活用し、コンポストを作成した。稲沢高校に協力を依頼し、花壇作りと花植えを実施した。動画などを制作し、学内のSDGsの認知度をアップした。また、花壇で栽培したお花をオープンキャンパス等で机に飾った。

⑥生活文化専攻（1年 BH）企画・制作「美術館周辺マップ制作プロジェクト」

2022.4～2023.1 実施

稲沢市荻須記念美術館からの依頼プロジェクト。周辺の飲食店を取材し、マップの作成を行った。特別展に合わせて来場者に配布し、街の活性化に貢献した。

⑦生活文化専攻（1年 日本文化演習）運営の手伝い 豊田合成株式会社連携事業
七夕ピアノコンサート

2022.7.7 実施

浴衣を着て、参加者に対して受付、案内等を行った。会場の準備片付けなども積極的に参加した。

⑧生活文化学科（生活文化専攻・食物栄養専攻）（1年 生活文化総合演習）「お出かけ市長室」

2022.10.19 実施

市長から、市政についての話を聞き、少子化対策や子育て支援について、小グループで考えた意見を市長にプレゼンテーションした。

【新聞掲載：10/27（木）中日新聞（尾張版）】

⑨幼児教育学科第1部・第3部企画・運営「第13回文教こどもフェスタ」2022年7月15日（土）実施

幼児教育学科の学生が学びの総まとめを「文教こどもフェスタ」として地域に披露した。多くの地域の親子の方々が参加した。親子で作ったり、一緒に遊んだり、パネルシアターや絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に歌ったりする内容であった。

⑩幼児教育学科1部2年7名参加「稲沢消費生活展」2022年10月16日（日）実施

稲沢市からボランティアの依頼を受け参加。稲沢市総合文化センターで行われた消費生活展において、会場設営、準備から積極的に動き、13:10～、14:30～の2回に分けて、絵本やペープサート、パネルシアター、手遊びなどの保育実践を披露し、訪れた子ども達を楽しませた。お客さんの呼び込みや看板、壁面作りも協力して行った。

⑪幼児教育学科 3 部 2 年 4 名参加 稲沢市立中央図書館[お楽しみ会]

2022 年 10 月 22 日（土）実施

稲沢市立中央図書館からボランティアの依頼を受け実施。11 時から 30 分、幼児から小学校低学年の子どもたちを対象に絵本の読み聞かせや手遊びを行った。

⑫幼児教育学科 高大連携講座実施（対象：愛知県立一宮商業高校経理科および国際ビジネス科の高校生（20 名））2022. 6. 15 実施

例年、高大連携をしている一宮商業高校の生徒さんを対象に高大連携講座を実施した。音楽表現やピアノ演奏についての講義を行った。実際に子どもの歌やリズム遊び等を行い、楽しく保育を学べる講座を実施した。

⑬幼児教育学科 高大連携講座実施（対象：誉高等学校の高校生（12 名））

2022. 10. 28 実施

高大連携講座として誉高校生を対象に保育について紹介した。音楽表現やピアノ演奏についての講義を行った。実際に子どもの歌やリズム遊び等を行い、楽しく保育実践を体験した。

⑭幼児教育学科 保育体験セミナー実施（対象：稲沢市、一宮市在住の一般市民（16 名））2022. 9. 27～11. 22 まで 6 講座実施

保育士免許を持っていない一般市民を対象に開催したセミナーで、保育を体験することで保育の魅力を発見し、保育士としての将来展望を持つことができることを趣旨とした。愛知県社会福祉協議会と連携し、6 講座を実施することができた。

⑮幼児教育学科 出前授業実施（対象：名古屋市立西陵高等学校の高校生）

2022. 1. 27 実施

「子どもの大好きな歌とリズム遊び」をテーマに音楽の授業を実施した。高校生が大学の授業に触れることで、生徒一人一人の明確な目的意識を育て一層学習意欲を高められるよう努めた。

⑯幼児教育学科 「オペレッタ上演」幼児教育学会第 1 部 2 年（対象：第一幼稚園園児・保護者・幼稚園教諭）2022. 11. 18 実施

幼児教育学科第 1 部 2 年 A・B 組の学生によるオペレッタを、幼稚園園児を対象に披露した。園児だけでなく、保護者や幼稚園教諭も参加し、本学学生のオペレッタ上演を観覧した。学生の総合表現での学びを地域に貢献できる貴重な機会となった。

以 上

3. 財務の概要

(1) 資金収支計算書の推移

(単位:千円)

科 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,186,009	1,129,302	987,632
	手 数 料 収 入	19,578	15,240	11,909
	寄 付 金 収 入	13,808	22,854	12,434
	補 助 金 収 入	331,730	330,025	305,376
	資 産 売 却 収 入	244	300,222	504,893
	付随事業・収益事業収入	96,320	103,256	96,276
	受取利息・配当金収入	15,181	14,921	15,416
	雑 収 入	112,924	96,066	90,618
	借 入 金 等 収 入	0	0	0
	前 受 金 収 入	405,920	355,365	276,540
	そ の 他 の 収 入	429,013	397,057	731,676
	資金収入調整勘定	△ 485,860	△ 435,802	△ 395,441
	前年度繰越支払資金	1,269,669	1,133,356	1,001,514
	合 計	3,394,536	3,461,862	3,638,843
支出の部	人 件 費 支 出	943,666	909,443	892,718
	教育研究経費支出	480,668	295,419	347,303
	管 理 経 費 支 出	307,716	351,088	298,132
	借入金等利息支出	14	11	8
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	91,642	8,894	45,782
	設備関係支出	45,291	71,042	60,429
	資産運用支出	0	450,000	550,000
	そ の 他 の 支 出	488,964	454,025	730,826
	資金支出調整勘定	△ 96,781	△ 79,574	△ 103,606
	翌年度繰越支払資金	1,133,356	1,001,514	817,251
	合 計	3,394,536	3,461,862	3,638,843

(2) 活動区分資金収支計算書の推移

(単位:千円)

項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
による教育活動資金収支	教育活動による資金収入計	1,760,369	1,680,044	1,499,431
	教育活動による資金支出計	1,732,050	1,555,950	1,537,686
	差引	28,319	124,094	-38,255
	調整勘定等	△ 22,918	△ 51,449	△ 77,558
	教育活動資金収支差額	5,401	72,645	-115,813
による施設整備等資金収支	施設設備等活動資金収入計	100	11,454	4,863
	施設設備等活動資金支出計	136,933	79,936	106,212
	差引	△ 136,833	△ 68,482	△ 101,349
	調整勘定等	△ 40,957	17,631	9,352
	施設設備等活動資金収支差額	△ 177,790	△ 50,851	△ 91,997
小計(教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額)		△ 172,389	21,794	△ 207,810
によるその他の活動資金収支	その他活動資金収入計	393,752	651,820	1,222,055
	その他活動資金支出計	357,408	805,456	1,198,508
	差引	36,344	△ 153,636	23,547
	調整勘定等	△ 268	0	0
	その他活動資金収支差額	36,076	△ 153,636	23,547
支払資金の増減額		△ 136,313	△ 131,842	△ 184,263
前年度繰越支払資金		1,269,669	1,133,356	1,001,514
翌年度繰越支払資金		1,133,356	1,001,514	817,251

(3) 事業活動収支計算書の推移

(単位:千円)

科目			令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,186,009	1,129,302	987,632
		手数料	19,578	15,240	11,909
		寄付金	14,769	14,044	13,457
		経常費等補助金	331,730	328,756	301,050
		国庫補助金	215,122	208,566	168,085
		地方公共団体補助金	116,608	120,190	132,965
		付随事業収入	96,320	103,256	96,276
		雑収入	112,931	107,574	90,618
		教育活動収入計	1,761,337	1,698,172	1,500,942
		事業活動支出の部	人件費	945,788	911,389
	教育研究経費		636,665	459,976	511,929
	管理経費		328,260	373,820	321,849
	徴収不能額等		0	0	0
	教育活動支出計		1,910,713	1,745,185	1,723,181
教育活動収支差額			△ 149,376	△ 47,013	△ 222,239
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	15,181	14,921	15,416
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	15,181	14,921	15,416
	事業活動支出の部	借入金等利息	14	11	8
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	14	11	8
		教育活動外収支差額			15,167
経常収支差額			△ 134,209	△ 32,103	△ 206,831
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	100	78	4,848
		その他の特別収入	3,407	18,700	11,940
		特別収入計	3,507	18,778	16,788
	事業活動支出の部	資産処分差額	129	6,838	21,041
		その他の特別支出	0	0	467
		特別支出計	129	6,838	21,508
		特別収支差額			3,378
基本金組入前当年度収支差額			△ 130,831	△ 20,163	△ 211,551
基本金組入額合計			△ 169,064	△ 26,000	△ 23,379
当年度収支差額			△ 299,895	△ 46,163	△ 234,930
前年度繰越収支差額			△ 4,116,377	△ 4,416,272	△ 3,937,794
基本金取崩額			0	524,641	0
翌年度繰越収支差額			△ 4,416,272	△ 3,937,794	△ 4,172,724
(参考)					
事業活動収入計			1,780,025	1,731,871	1,533,146
事業活動支出計			1,910,856	1,752,034	1,744,697

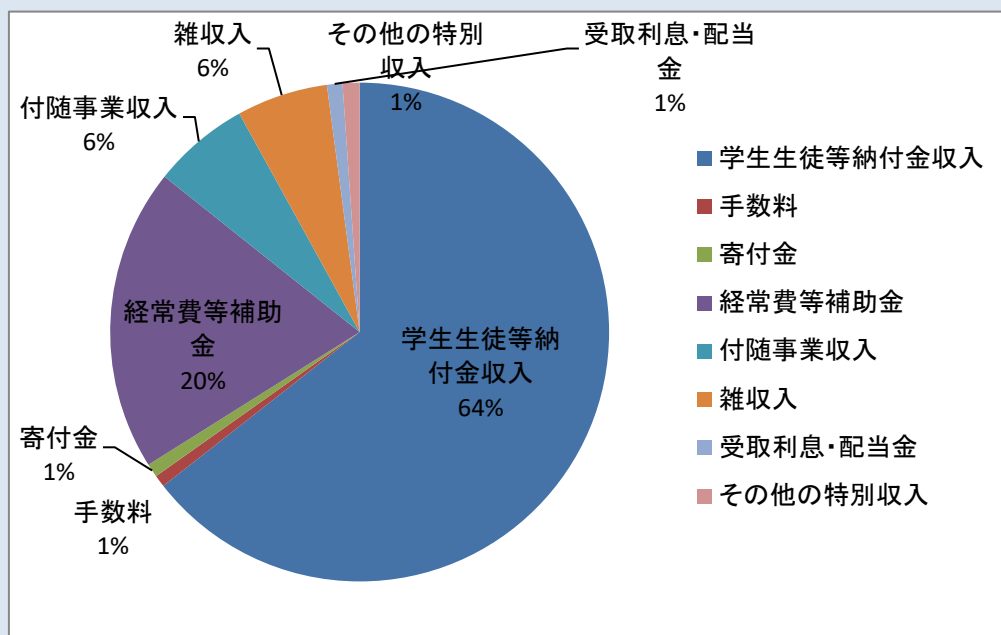
(4) 貸借対照表の推移

(単位:千円)

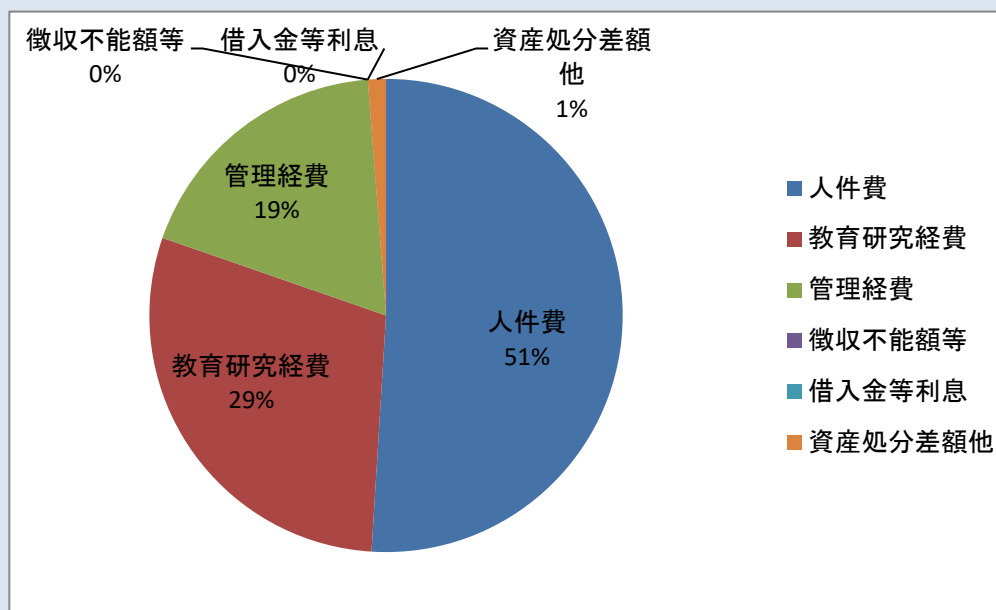
資 産 の 部			
科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固 定 資 産	8,719,429	8,657,884	8,661,266
有形固定資産	7,946,532	7,827,028	7,721,699
特定資産	50,000	50,000	150,000
その他の固定資産	722,897	780,856	789,567
流 動 資 産	1,200,202	1,135,921	864,457
合 計	9,919,631	9,793,805	9,525,723
負 債 の 部			
科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
固 定 負 債	381,716	366,196	365,412
流 動 負 債	542,950	452,807	397,059
合 計	924,666	819,003	762,471
純 資 産 の 部			
基 本 金	13,411,237	12,912,596	12,935,976
繰越収支差額	△ 4,416,272	△ 3,937,794	△ 4,172,724
純資産の部合計	8,994,965	8,974,802	8,763,252
負債及び純資産の部合計	9,919,631	9,793,805	9,525,723

(5) 令和4年度 事業活動収入及び支出の構成比

《事業活動収入の構成比率》



《事業活動支出の構成比率》



(6) 主な財務比率の推移

事業活動収支計算書関係比率

比率名	算 式 (×100)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費比率	人件費/経常収入	53.2%	53.2%	58.7%
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	79.7%	80.7%	90.1%
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	35.8%	26.9%	33.8%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	66.8%	65.9%	65.1%
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額/教育活動収入計	-8.5%	-2.8%	-14.8%
補助金比率	補助金/経常収入	18.6%	19.1%	19.9%

経常収入=教育活動収入計+教育活動外収入計

貸借対照表関係比率

比率名	算 式 (×100)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
純資産構成比率	純資産/(負債+純資産)	90.7%	91.6%	92.0%
流動資産構成比率	流動資産/総資産	12.1%	11.6%	9.1%
流動比率	流動資産/流動負債	221.1%	250.9%	217.7%
総負債比率	総負債/総資産	9.3%	8.4%	8.0%

(7) 財務諸表の説明

学校法人は「学校法人会計基準」に則して会計処理を行い、決算時には会計処理結果を表す、財務計算に関する書類「計算書類」を作成しなければなりません。

学校法人会計基準の一部改正に伴い、平成27年度以降の会計年度より学校法人が作成しなければならない計算書類は下記のとおり変更がありました。

資金収支計算書には新たに活動区分資金収支計算書が加われました。

消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書に変更され、様式も大きく変更されました。

貸借対照表はその他の固定資産に含まれていた引当特定資産を特定資産として分離し、固定資産は有形固定資産、特定資産、その他の固定資産に区分される。また、従来の基本金の部、消費収支差額を合わせて純資産の部となりました。

資金収支計算書	当該会計年度の学校の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及び預貯金)の顛末を表すもの
	収入には学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産売却、前受金等が計上され、支出では、人件費、教育研究経費、管理経費、施設関係等が計上
	資金収支計算書を活動区分(教育活動による資金収支、施設整備等活動による資金収支、その他の活動による資金収支)ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにするもの
	当該会計年度の事業活動ごとの成果を明らかにするために、収支を経常的な収支と臨時的な収支とに区分するもの
事業活動収支計算書	経常的な収支とは、本業の教育研究活動における経常的な収支を示す教育活動収支と受取利息・配当金や借入金等利息等の財務的な活動として教育外収支とに分ける
	臨時的な収支は、特別収支として資産売却差額、資産処分差額等の臨時的に発生した収支を示す

(8) 企業会計との比較

企業は業績を伸ばし利益を獲得することが目的なのに対して、学校法人は公共性の高い教育を提供し社会に貢献できる人材の育成を目的としています。具体的には、企業会計においては、損益計算書で純利益がいくらになっているかを明確にすることが必要なのに対して、学校法人会計においては、その事業活動収支計算書で教育を継続し得る資産の保有を前提として、いかに均衡が取れた収支を維持できるかということを明確にすることが求められています。

	企業	学校
損益を表すもの	損益計算書	事業活動収支計算書
資金の動きを表すもの	キャッシュフロー計算書	資金収支計算書 活動区分資金収支計算書